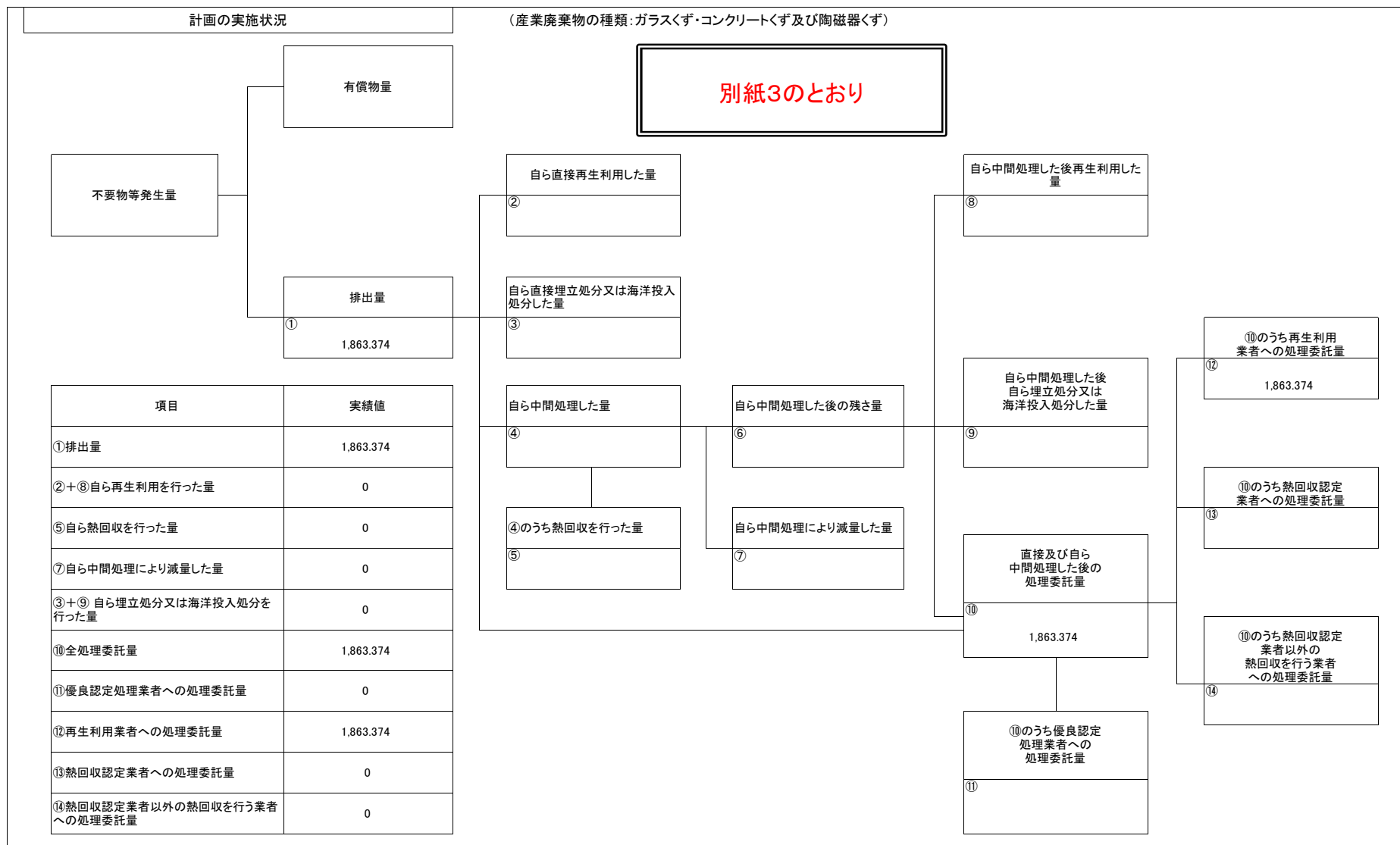
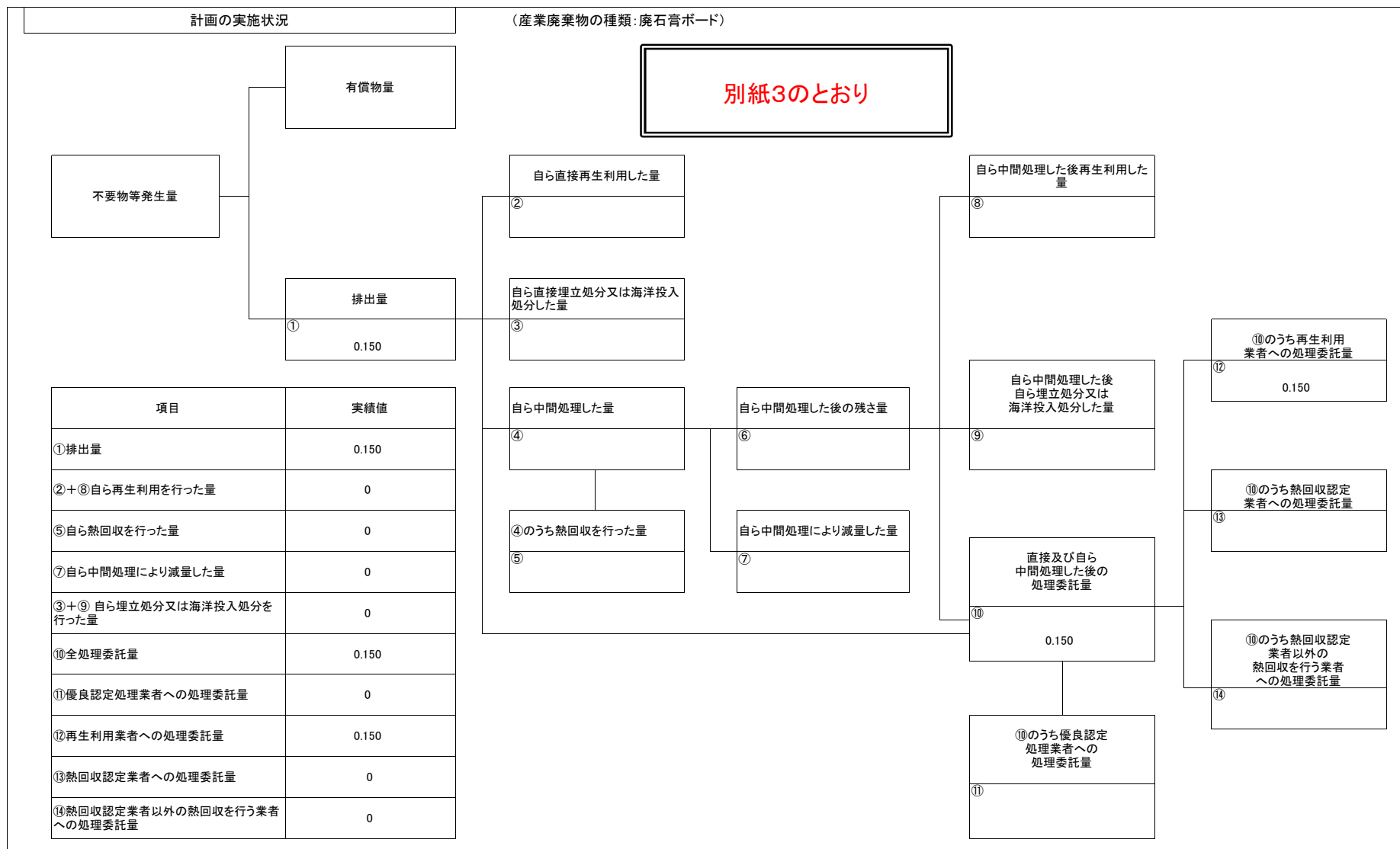
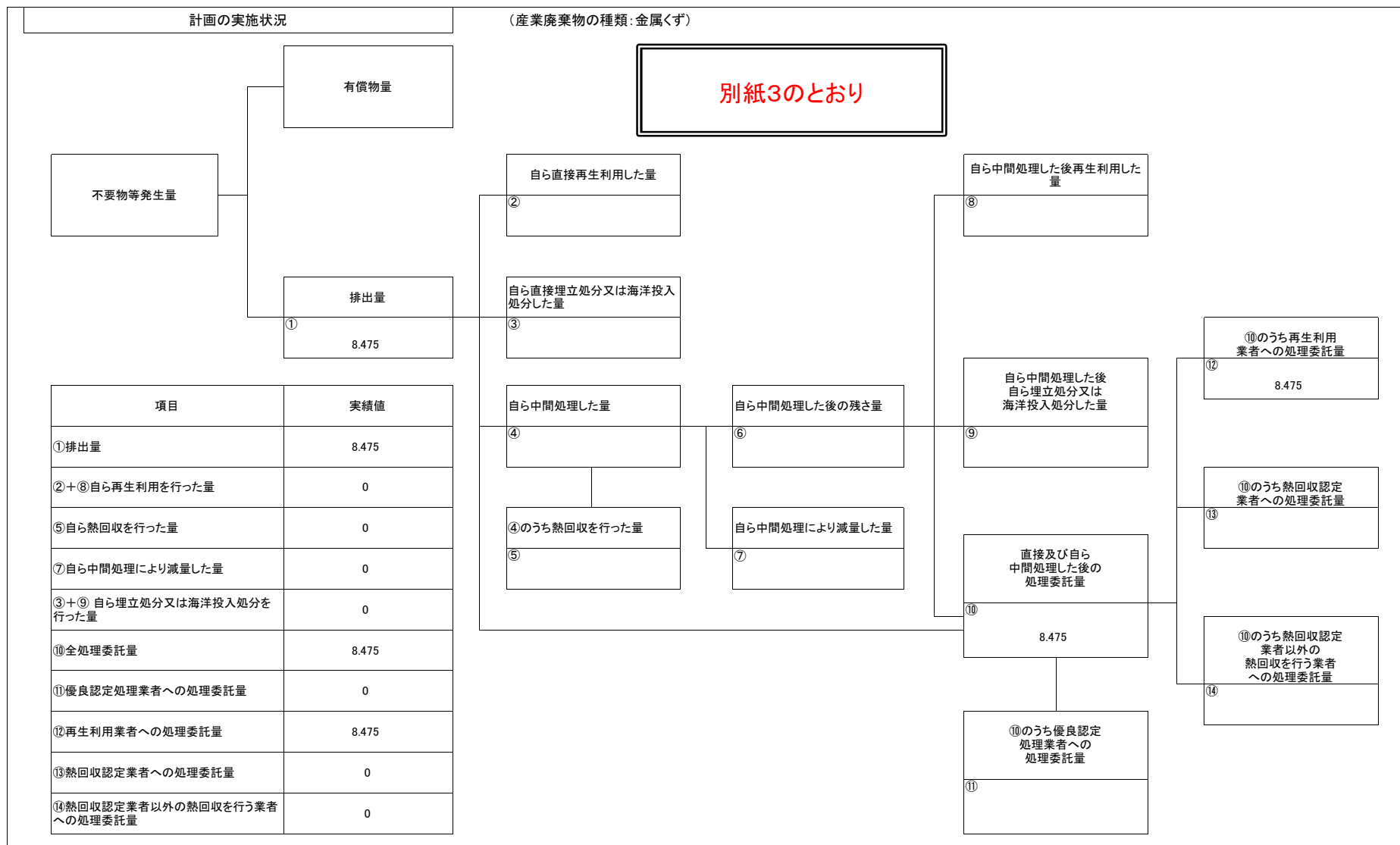
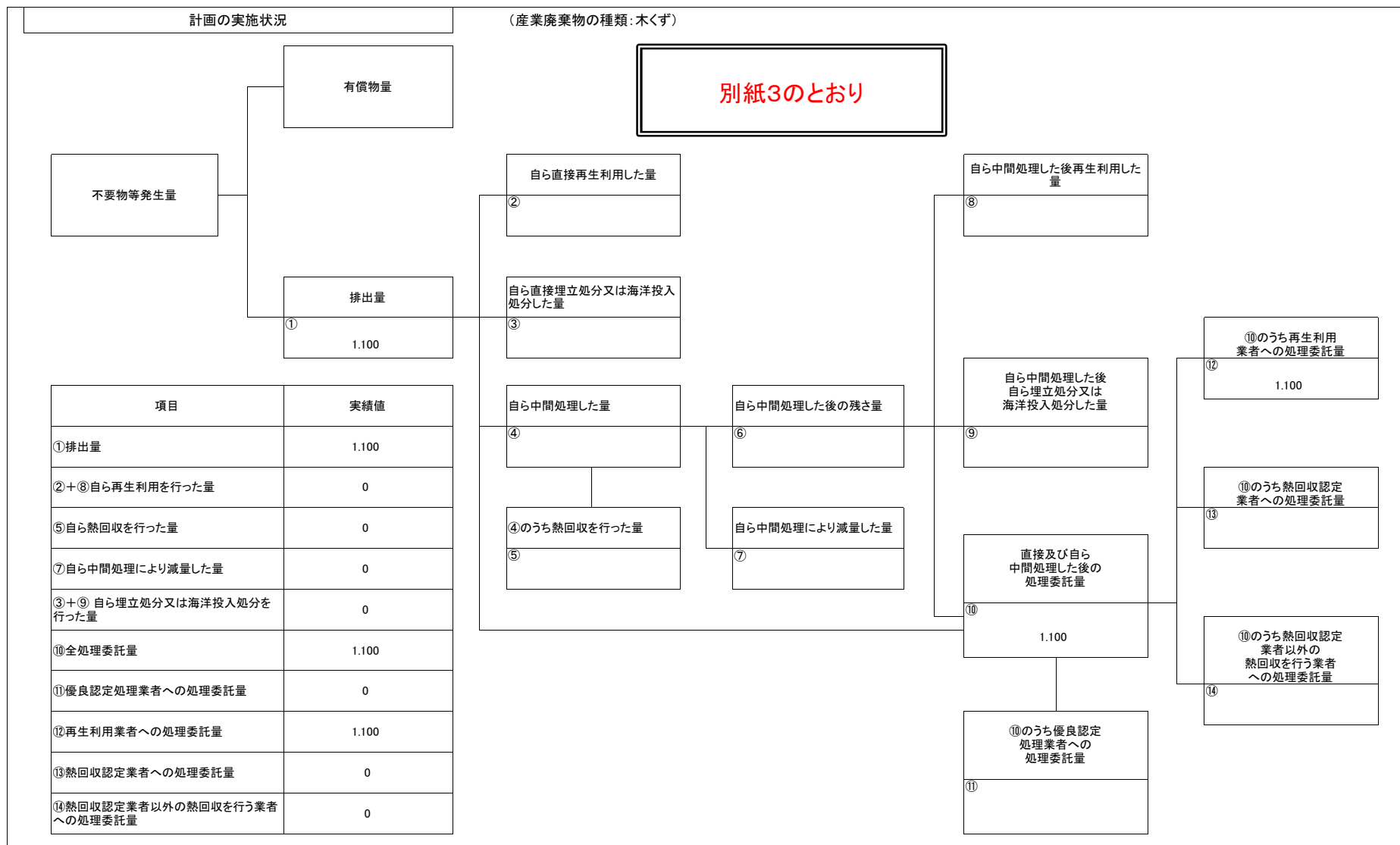


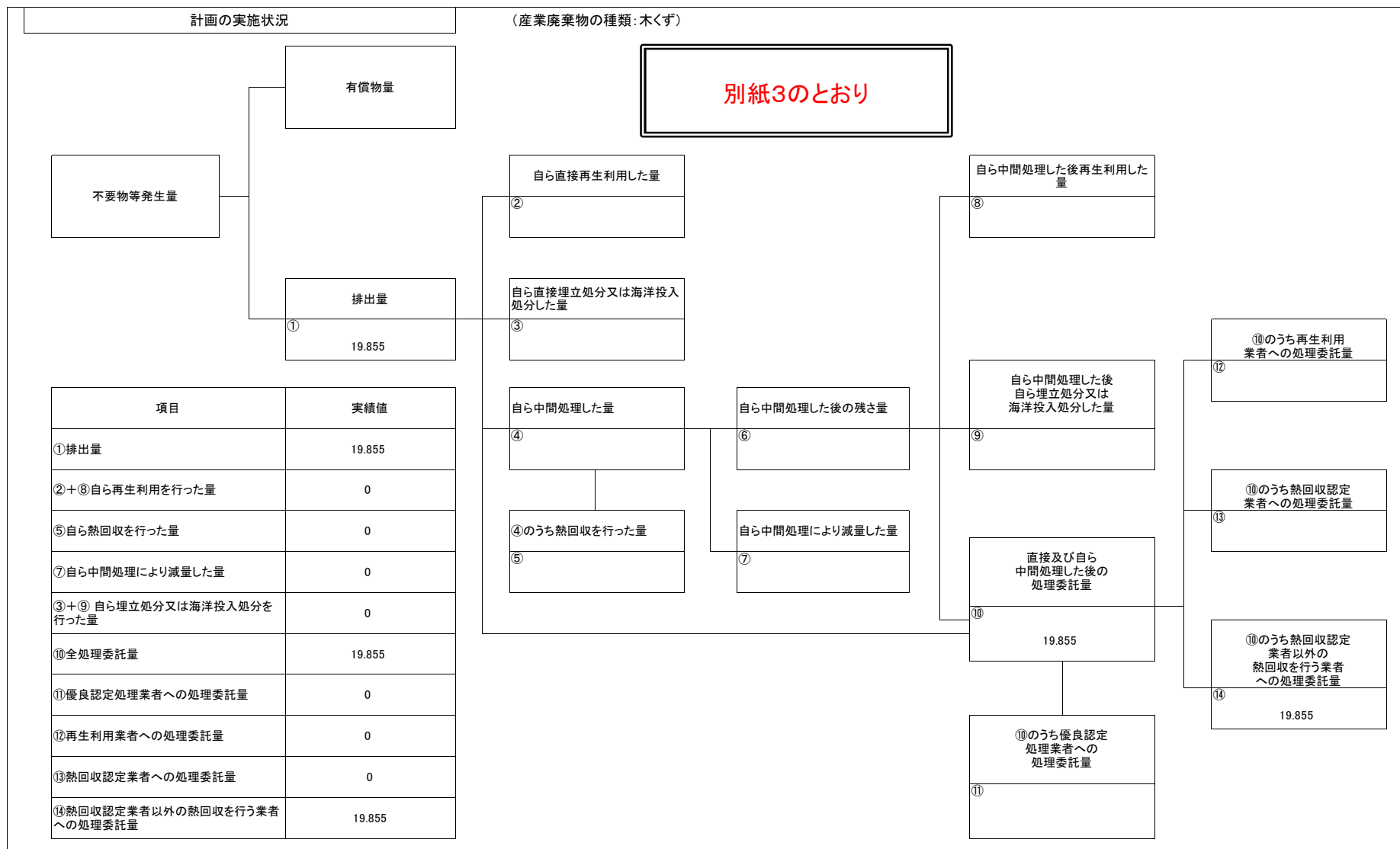
産業廃棄物処理計画実施状況報告書				
令和6年6月26日				
広島県知事 様				
提出者				
住所 広島県福山市駅家町近田30				
氏名 美建工業 株式会社				
代表取締役 高田 浩平				
電話番号 084-976-0206				
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称	広島県三原市大和町大草291-1			
事業場の所在地	広島県三原市大和町大草291-1			
事業の種類	窯業・土石製品製造業 レディーミクストコンクリートの製造 プレキャストコンクリート製品の製造			
産業廃棄物処理計画における計画期間				
産業廃棄物処理計画における目標値 別紙4のとおり				
	項目	目標値	項目	目標値
	排出量	1,635.000 t	全処理委託量	1,635.000 t
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,600.000 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
	自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	35.000 t

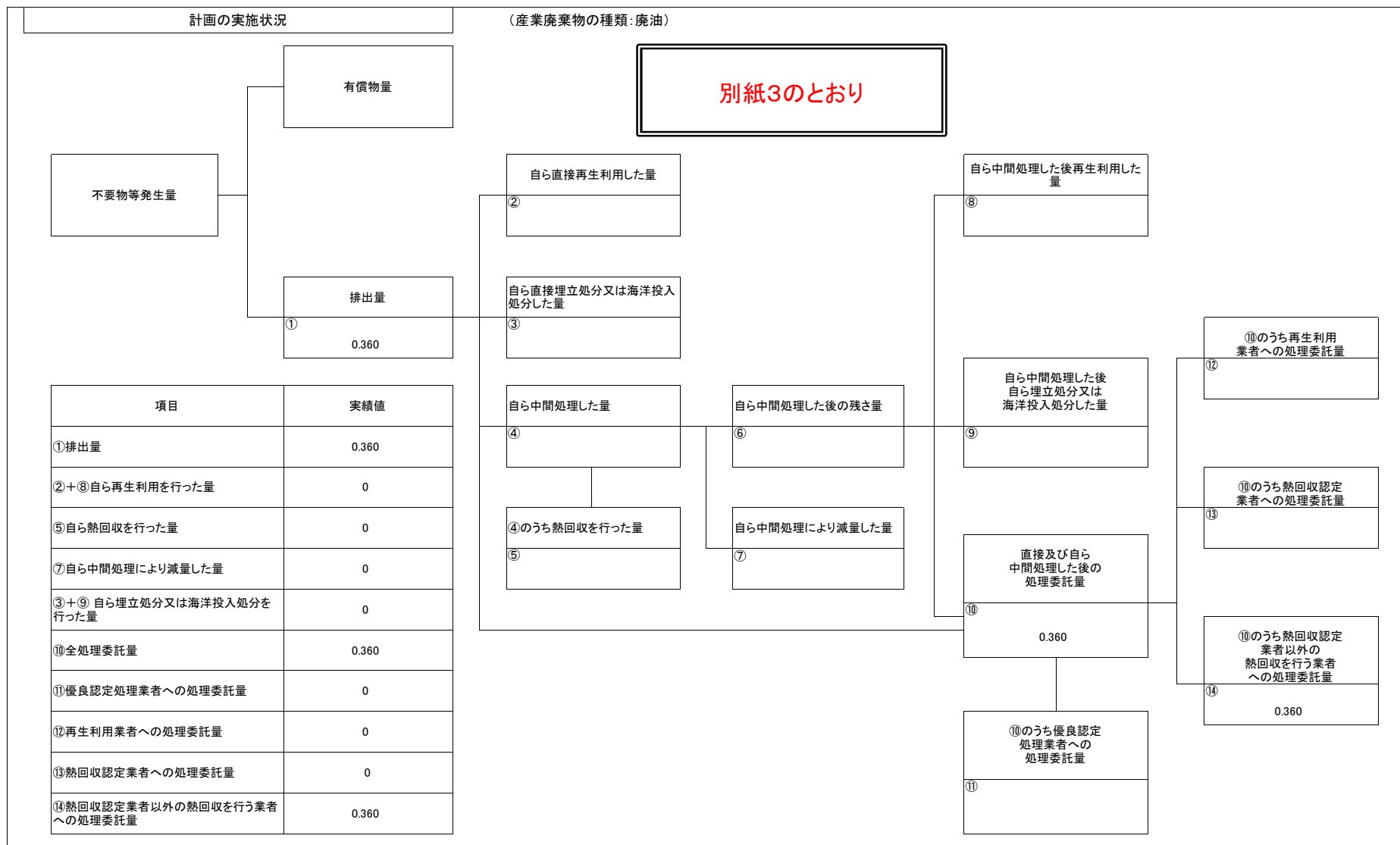


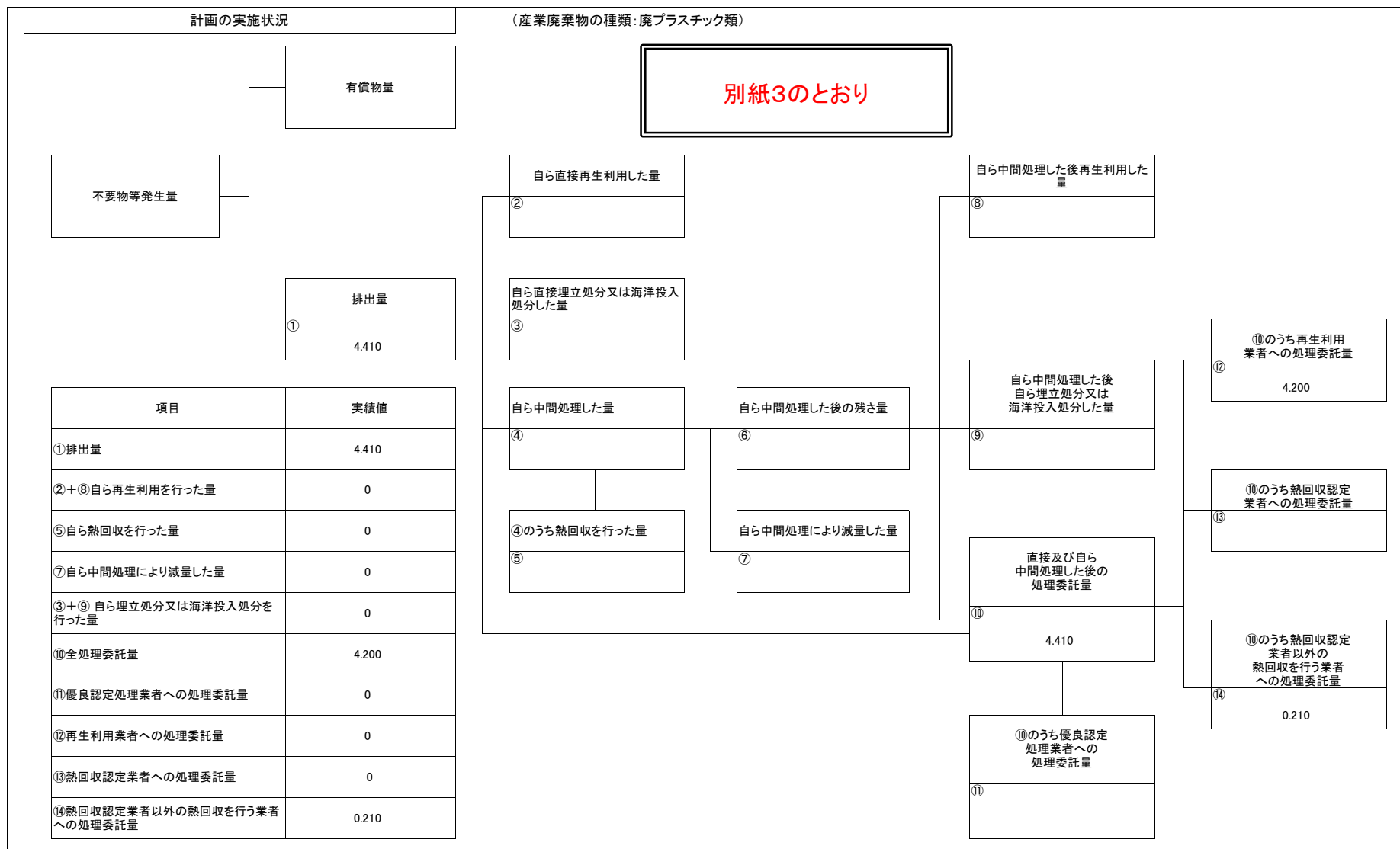












備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3-その1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和5年度実績)

単位:トン/年

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生 利用した量	自ら直接埋立 処分又は海洋 投入処分した 量	自ら中間処理 した量	④のうち熱回 収を行った量	自ら中間処理 した後の残さ 量	自ら中間処理 により減量し た量	自ら中間処理 した後、再生 利用した量	自ら中間処理 した後、自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量	⑩のうち優良 認定処理業者 への処理委託 量	⑩のうち再生 利用業者への 処理委託量	⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑩のうち熱回 収認定業者以 外の熱回収を 行う業者への 処理委託量
産業廃棄物の種類														
燃え殻														
汚泥	20									20				20
廃油	0									0				0
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	4									4		4		0
紙くず														
木くず	1									1		1		
繊維くず														
動植物性残さ														
動物系固形不要物														
ゴムくず														
金属くず	8									8		8		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1864									1864		1864		
鋳さい														
がれき類														
動物のふん尿														
動物の死体														
ばいじん														
廃石膏ボード	0									0		0		
合計	1898	0	0	0	0	0	0	0	0	1898	0	1878	0	20

別紙3ーその2

単位:トン/年

実 績 値									
① 排出量	②+⑧ 自ら再生利 用を行った量	⑤ 自ら熱回収を 行った量	⑦ 自ら中間処 理により減量 した量	③+⑨ 自ら埋立処 分又は海洋 投入処分を 行った量	⑩ 全処理委託 量	⑪ 優良認定処 理業者への 処理委託量	⑫ 再生利用業 者への処理 委託量	⑬ 熱回収認定 業者への処 理委託量	⑭ 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う 業者への処 理委託量
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	20	0	0	0	20
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	4	0	4	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	8	0	8	0	0
1864	0	0	0	0	1864	0	1864	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1898	0	0	0	0	1898	0	1878	0	20

別紙 4 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和5年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	1,635.000	①排出量	1,898.090
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		②自ら直接再生利用した量	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		⑤自ら熱回収を行った量	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		⑦自ら中間処理により減量した量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	
全処理委託量	1,635.000	⑩全処理委託量	1,898.090
優良認定処理業者への処理委託量		⑪優良認定処理業者への処理委託量	
再生利用業者への処理委託量	1,600.000	⑫再生利用業者への処理委託量	1,877.665
熱回収認定業者への処理委託量		⑬熱回収認定業者への処理委託量	
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	35.000	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20.425

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月26日	
広島県知事 様	
提出者	
住所	広島県福山市駅家町近田30
氏名	美建工業 株式会社
代表取締役	高田 浩平
電話番号	084-976-0206
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	美建工業 株式会社 大和工場
事業場の所在地	広島県三原市大和町大草291-1
計画期間	令和 6年 4月 1日～令和 7年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙 1、2 のとおり	
①事業の種類	窯業・土石製品製造業 レディーミクストコンクリートの製造 プレキャストコンクリート製品の製造
②事業の規模	レディーミクストコンクリート出荷量(令和5年度実績) 6,950m ³ /年 プレキャストコンクリート製品生産量(令和5年度実績) 30,350 t /年
③従業員数	49名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙2のとおり」

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1、2 のとおり

(管理体制図)

「別紙2のとおり」

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1、2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1、2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自ら行う産業廃棄物の再生利用なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後の予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1、2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後の予定なし			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙 1、2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t
	（これまでに実施した取組） 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t
	（今後実施する予定の取組） 今後の予定なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙 1、2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	（これまでに実施した取組）	

②計画	【目標】 別紙 1、2 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度（令和5年度）実績量

計画：今年度（令和6年度）計画量

単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻																				
汚泥	19.855	16.000									19.855	16.000							19.855	16.000
廃油	0.360	5.000									0.360	5.000							0.360	5.000
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラスチック類	4.410	5.000									4.410	5.000			4.200	4.000			0.210	1.000
紙くず																				
木くず	1.100	1.000									1.100	1.000			1.100	1.000				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	8.475	5.000									8.475	5.000			8.475	5.000				
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,863.740	1,700.000									1,863.740	1,700.000			1,863.740	1,700.000				
鉱さい																				
がれき類																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃石膏ボード	0.150	0.000									0.150	0.000			0.150	0.000				
合計	1,898.090	1,732.000	0	0	0	0	0	0	0	0	1,898.090	1,732.000	0.000	0.000	1,877.665	1,710.000	0.000	0.000	20.425	22.000

別紙2 (廃棄物処理法－産業廃棄物処理計画書)

1 . 当該事業場において行っている事業に関する事項

① 事業場の名称

美建工業株式会社 大和工場

② 事業場の所在地

広島県三原市大和町大草291番地1

③ 事業の種類

窯業・土石製品製造業
レディーミクストコンクリートの製造
プレキャストコンクリート製品の製造

④ 事業の規模

レディーミクストコンクリート出荷量(令和5年度実績) 6,950m³/年
プレキャストコンクリート製品生産量(令和5年度実績) 30,350 t/年

③ 従業員数

49 名

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

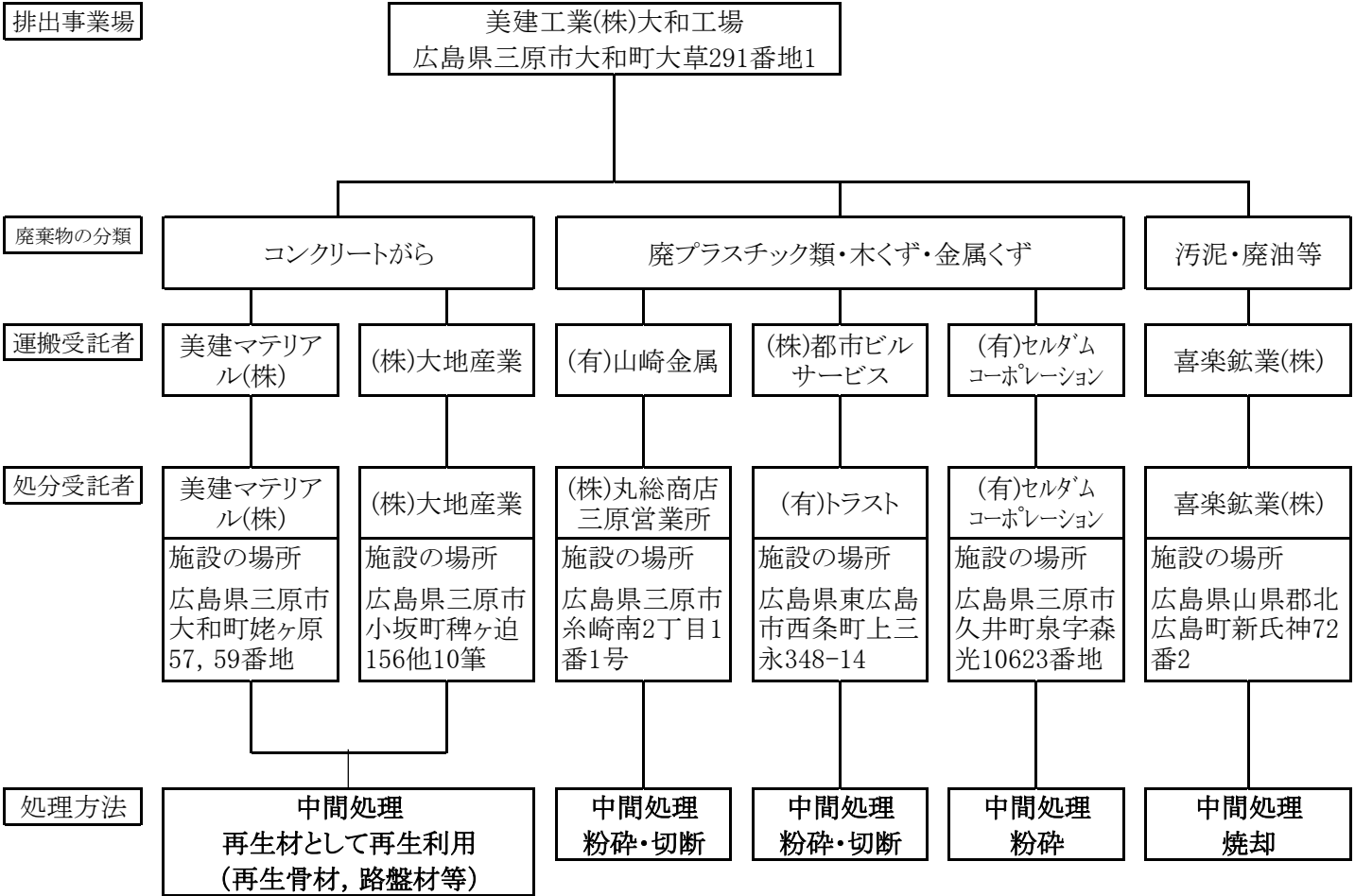
別紙 製造工程フローシートによる

2 . 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

① 廃棄物処理責任者

大和工場 工場長 元谷 智史

② 廃棄物処理に係る管理体制



3 . 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和5年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	木くず・廃石膏ボード ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排 出 量	19.855 t	0.360 t	4.410 t	8.475 t	1.250 t 1,863.740 t
	（これまでに実施した取組） 品質の安定を図るためのデーター収集を行い製造技術の向上により、品質の安定を図り、規格外のコンクリート及び検査不合格品の発生を抑制した。 計画的に、場内に置いてある産業廃棄物を排出して、削減していた。					
②計画	【目標】（令和6年度）（2024年度）					
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	金属くず	木くず・廃石膏ボード ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
	排 出 量	16.000 t	5.000 t	5.000 t	5.000 t	1.000 t 1,700.000 t
	（今後実施する予定の取組） データー収集を行い製造技術の向上により、品質の安定を図り規格外のコンクリート及び検査不合格品の発生抑制に努める。 営業部門との連絡を密にし、計画的な生産計画を立てて、不良在庫の抑制に努める。 戻りコンクリートについては、インゴット製作を行い、産業廃棄物の排出の抑制に努める。 廃プラスチック類(副資材等)については、再利用を促進していく。					

4 . 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の種類別に置場を決めて分別している。
② 計画	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の種類別に置場を決めて分別する。 (廃油、汚泥等は、漏出及び雨水等が混ざらないような容器に保管する。)

5 . 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の再生利用なし
② 計画	(今後実施する予定の取組) 今後の予定なし

6 . 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の中間処理なし
② 計画	(今後実施する予定の取組) 今後の予定なし

7 . 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

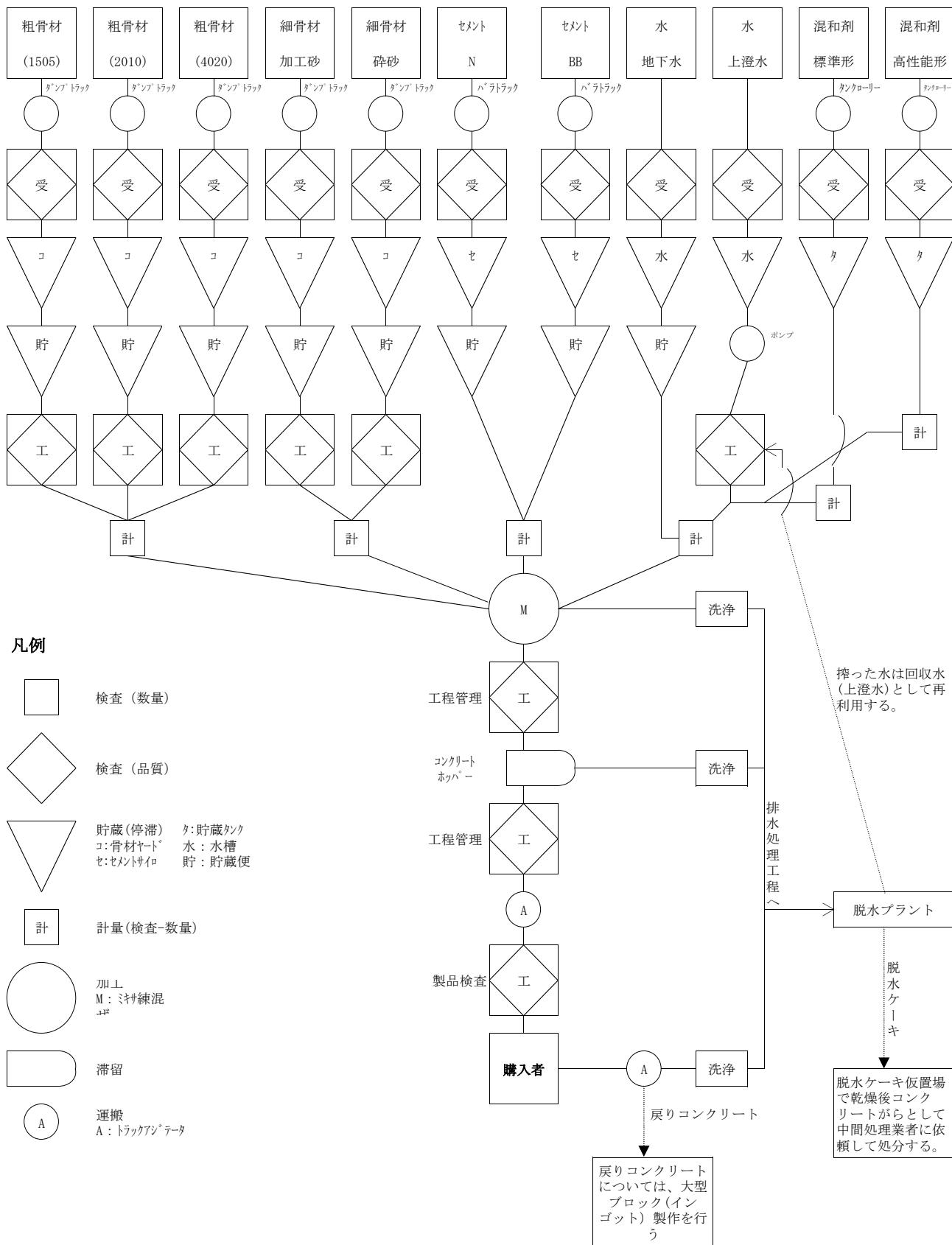
① 現状	(これまでに実施した取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分なし
② 計画	(今後実施する予定の取組) 今後の予定なし

8 . 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

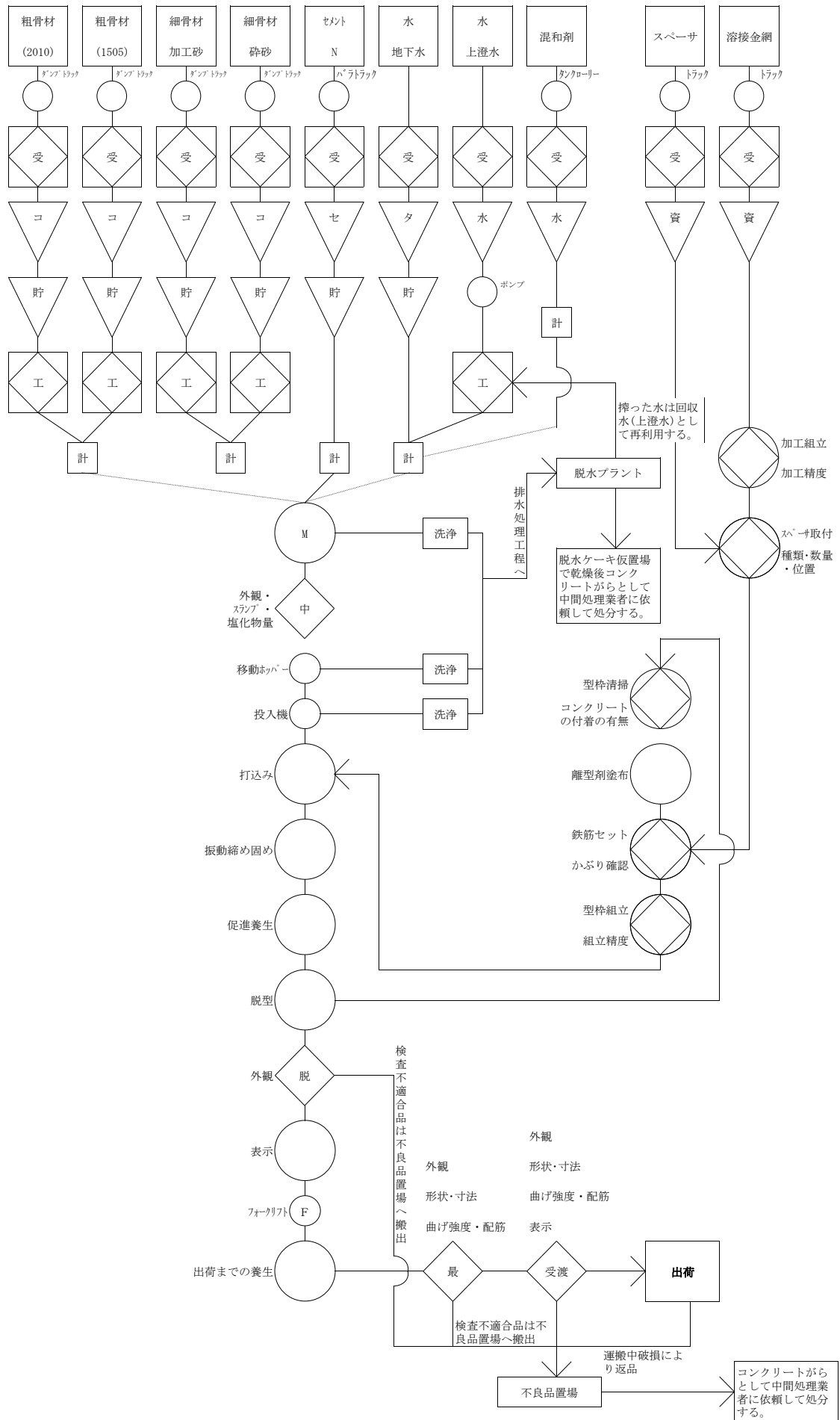
① 現状	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の適正処理を確保するために、関連する法令その他の規則を遵守する。 収集運搬、中間処理、最終処理業者と委託契約書を取り交した産業廃棄物処理業者に委託している。
② 計画	(今後実施する予定の取組) 新たに産業廃棄物の処理委託契約を取り交す時は、再生利用業者との処理委託契約を優先に契約を取り交し、優先的に再生利用を行う。

産業廃棄物の一連の処理の工程
別紙 製造工程フローシート(生コンクリート)

産業廃棄物の一連の処理の工程
別紙 製造工程フローシート(生コンクリート)



産業廃棄物の一連の処理の工程
別紙 製造工程フローシート(コンクリート製品)



工場配置図

美建工業株式会社 大和工場
広島県三原市大和町大草291番地1

